

第20回 医療の質・安全学会学術集会

パネルディスカッション36

日時：2025年11月9日（日）8:30～10:00
会場：第8会場/B1F 日図デザイン博物館 A

周術期におけるチーム医療のあり方 ～手術医療の質と安全を担保するためには～

座長：徳山 薫（東京大学医学部附属病院 看護部）/原 健太郎（熊本大学大学院生命科学研究部 基盤看護学）

外科的医療技術の進展で手術件数は増加の一途である。少子高齢化の影響により、看護師、外科医、麻酔科医、臨床工学技士など、医療現場の人材不足が本格化し、手術医療における人材確保・育成は急務の課題である。本パネルディスカッションでは、手術を受ける患者の医療の質と安全を担保するために、手術医療における人材確保と育成の課題について各専門家による多角的な視点から議論を行う。

ご登壇いただく先生

瀬戸 泰之 先生（国立がん研究センター中央病院）

ミルズ しげ子 先生（長野医療保健大学 看護学部）

武村 雪絵 先生（東京大学医学部附属病院 看護部）

内田 寛治 先生（東京大学大学院医学系研究科 生体管理医学講座 麻酔科学）

北本 憲永 先生（藤田医科大学 医療科学部 臨床教育連携ユニット 臨床医工学分野）

外保連の立場から

日本手術看護学会の立場から

看護部長の立場から

麻酔科学会の立場から

臨床工学技士会の立場から

サステイナブルな質の改善と患者安全

